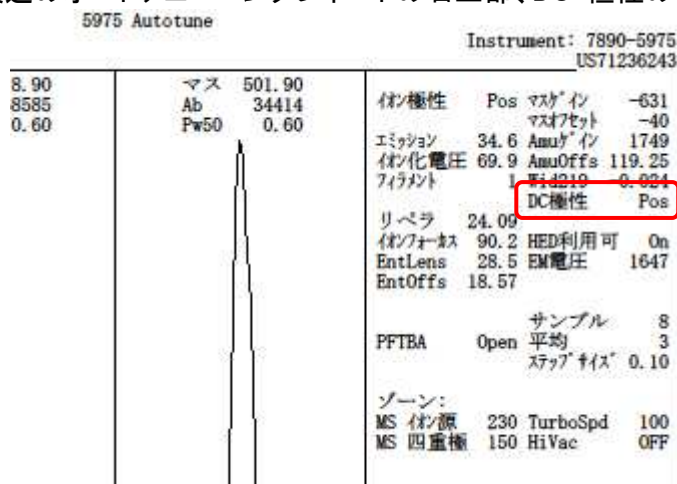


## チューニングファイルの作り直し方法

チューニング時に“MS のピーク幅が一定になりません”というようなメッセージや他のエラーが表示された場合は、チューニングファイルを作り直していただくと現象が改善する事があります。ここではチューニングファイルを作成し直す方法を紹介します。

(バージョンの違いにより、メニューの表記方法が若干違う場合があります)

1. 最近のオートチューニングレポートの右上部、DC 極性のパラメータを確認します。

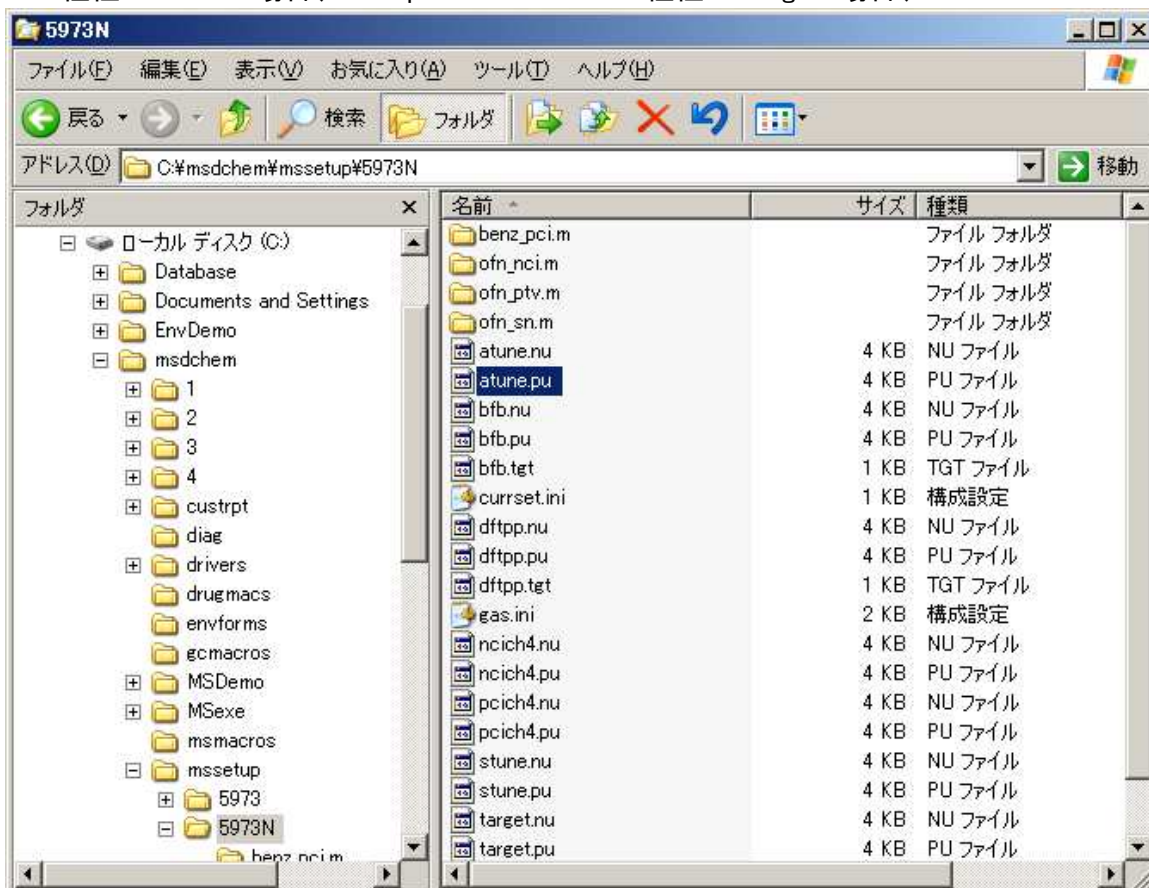


2. ケミステーションを一旦終了いただき、エクスプローラーにて下記のファイルをコピーしてください。

C:\%msdchem%\mssetup\%5973 または 5973N または 5975(お使いの装置名)\

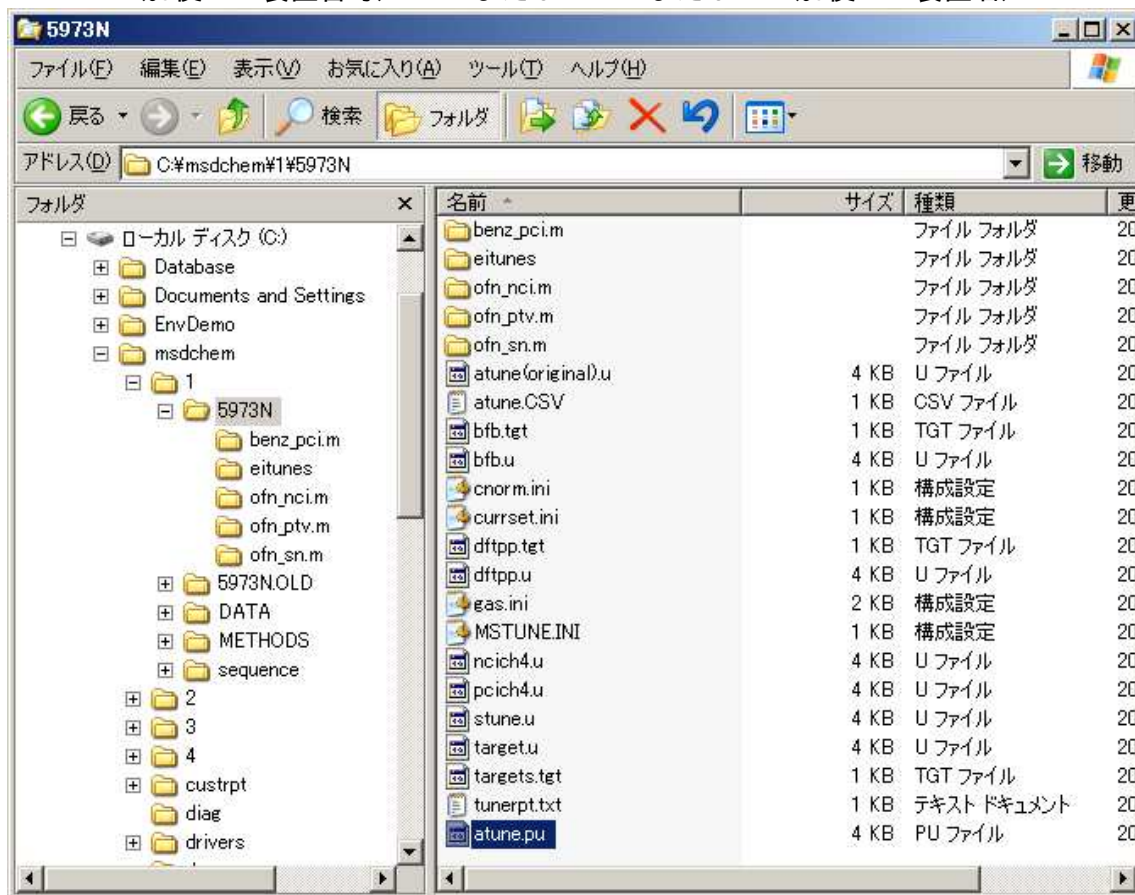
DC 極性が Pos の場合、atune.pu

DC 極性が Neg の場合、atune.nu



3、コピーしたファイルを下記のフォルダーに張り付けます。

C:\msdchem\1(お使いの装置番号)\5973 または5973N または5975(お使いの装置名)\



4、張り付けたフォルダーに元々あるatune.u を名前の変更で別の名前にします。

その後、張り付けたファイルを名前の変更でatune.u とします。

例、

既存のファイル、atune.u⇒atune\_old.u

新しいファイル、atune.pu⇒atune.u

5、ケミステーションを立ち上げて「装置」メニュー > 「チューニングパラメータ編集」をクリックして、マニュアルチューニング画面に入ります。



6. 最近のチューニングレポートを確認しながら、各パラメータの値を入力します。



フィラメント / リペラ / イオンフォーカス / EntLens / EntOffs  
マスゲイン / マスオフセット / Amu ゲイン / AmuOffs / Wid219 / DC 極性 / EM 電圧の値を  
チューニングレポートの値と同じ値に変更します。

入力が完了しましたら「OK」ボタンをクリックします。

7. 「MS チューニングファイル保存」ウィンドウにて、ファイル名は atune.u のままで「選択」をクリックして  
上書き保存をします。



8. 再度、通常通り、オートチューニングを実行して下さい。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: [email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>